

かしわレポート



No.02 2007年11月23日発行

◆ 今回の一般質問では、ごみ、小学校、行政の外部評価などについて取り上げました

前回に引き続きごみ問題、小学校の問題を取り上げ、それに加えて今回は行政改革の中で、行政事務の評価、市ホームページの色覚バリアフリーなどについて質問をしました。

外部評価の必要性

厳しい財政事情のもと、市民にとって本当に必要なサービスを実施していくためには、その取捨選択が必要ですが、現在行われている行政評価では内部による評価がすべてで必ずしも十分とは言えません。

そこで今回提案したのが、「事業仕分け」の手法です。現在市が担う事業を公開の場で、**そもそもの必要性**にまで立ち返って見直しを行うものです。

財政健全化メニューとして、あがってくるものも行政内部で調整されたものだけです。税金がどのような使われ方をしているのか明らかになる、職員自らの問題意識が高まるきっかけとなる、という副次的な効果も期待できます。



(写真提供 よみ ASA プラス)

市長からも、「内部評価だけでは十分ではない」という答弁がありました。その他、電子自治体にかかる費用の大きさと利便性の不均衡について指摘をいたしました。

児童が急増する和光小学校

前回質問していた内容があきらかになりました。和光小学校は平成25年に児童数のピークを迎え、最大で30学級、1074人にも達するそうです。道教委、市教委の考える適正規模、12～18学級をはるかに越える数字であり、24学級の現在でもすでに空き教室はありません。

一方、平成40年には最小で611人18学級まで減るとい推計になっていますが、これには黄金北や黄金中央の通学区域の変更は考慮されていません。線路を渡って恵庭小に通っている地区の子どもたちが新設される学校に通うことも検討の余地があります。

議会改革を考える議員懇談会

9月に7人の議員で立ち上げた議会改革のための懇談会が主催して、10/29(火)に第1回目の勉強会を行いました。北海学園の森先生からご講演をいただきました。これからも、あるべき議会の姿をみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

みなさんの声をお寄せください

11/21(水)には「懇談会」主催の議会報告会を実施いたしました。複数の会派の議員による市政報告会は初めての試みです。議員からの報告にとどまらず、市民のみなさんからたくさんのご意見、ご質問もいただきました。これからもこうした取り組みは続けていきます。

この他にも、メール・電話などお気軽にご意見をお寄せください。呼んでいただければ、お話を伺いに参ります。

■ 柏野 大介
〒061-1441
北海道恵庭市
住吉町2-2-14

Mobile: 090-2695-2880
Email: dkashiwano@gmail.com
Blog: かしわの大介 [検索]
<http://kashiwano.blog95.fc2.com/>